

が催す建設安全大会
大安全大会

『会社の存続は各部署が
心一つに団結すること』
柴田社長



気をき込めて“がんばろう!”会場は一体に



柴田社長
「私が入社して31年目になります。30年前は巻き網漁をはじめ、奈良地区もまたまだ活気があった。

今年創業41年を迎える新上五島町の大宝建設(柴田久直代表取締役)は2日、新上五島町福祉センターしおさい2階会議室を会場に「平成27年度労働安全衛生大会」を開催した。当日は50名が参加し、「私たちの現場から事故をおこさない、私たちの会社から事故



田中所長



三根指導幹

を述べた上で、「私が入社して31年目になります。30年前は巻き網漁をはじめ、奈良地区もまたまだ活気があった。しかし、現在はわずか2社だけになってしまった。建設業においても、新上五島町で半分程度にまで減った」と述懐。続けて、「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。

「私が入社して31年目になります。30年前は巻き網漁をはじめ、奈良地区もまたまだ活気があった。しかし、現在はわずか2社だけになってしまった。建設業においても、新上五島町で半分程度にまで減った」と述懐。続けて、「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。

「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。



表彰の様子

安全教育では、「新手法による災害事例研究」と題されたDVD研修が行われた後、安全講演として長崎県労働基準監督署五島駐在事務所から田中幸彦所長と、長崎県五島振興局上五島支所の三根祐吉検査指導幹が招かれ、現場で最も多いと

「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。

はろっ。を三唱し、会場は一体となった。今大会における安全表彰の受賞者は次の通り。(敬称略)
〔社内優秀工事表彰〕
▽奈良尾漁港水産物供給基盤機能保全工事―監理技術者/藤崎康則、現場代理人/松尾恵一▽小奈尾尾地区急傾斜地崩壊対策工事―主任技術者、現場代理人/松竹幸裕▽奈良尾地区統合簡易水道整備工事(2工区)―主任技術者、現場代理人/西村幸一▽奈良尾地区統合簡易水道整備工事―監理技術者/平山昭誠、現場代理人/近藤誠
〔協力業者・安全功勞表彰〕
▽田中工業㈱、アグルテック㈱、近藤建設工業、山一住設、加藤産業㈱

が送られ一様一転に顔を凝はせていた。会も終盤に入ると、工事部の松竹幸裕氏が冒頭の全国安全週間スローガンを声も高らかに宣言、閉めには竹中副司工事課長が威勢よく「がんばろうっ。」を三唱し、会場は一体となった。今大会における安全表彰の受賞者は次の通り。(敬称略)

「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。

「生き残った会社に共通していることは、現場を支える社員、現場を取り仕切る監督さん、経営を操縦する事務所、それぞれが同じ方向に向かって団結して進むことにより、会社の存続があるということ。今後とも皆さんと心を一つにしてまい進していきたい」と、会場に力強く呼びかけた。



真剣に聞いている

なお、冒頭の柴田社長の挨拶には続きがあるので文末となったが、抜粋して掲載することを御許し願いたい。さて、年頭の仕事を始めに今年の目標の一つに「環境難島新法」の制定に向けて会社も支援していただくことを掲げました。おかげ様で5月28日には上五島石油備蓄に1500人が集いました。全現場が達成できました衷心よりお礼申し上げます。